

## 2. 4 交通

- 箕面市は、大阪市方面の交通流動が多く、都心との結びつきが強い地域である。また、鉄道利用のため、また目的地として、千里中央地区へ交通が集中している。
- 公共交通サービスとしては、大阪府内の鉄道アクセス不便地域の一つであり、都心方面の交通需要に対して、路線バスが千里中央までの輸送を担い、バス路線網は千里中央一極集中型となっている。一方、市内を循環するバス路線網は系統・本数ともに少ない。
- 箕面市は、都心アクセス、市内々々移動ともに自家用車の利用が多く、過度に自家用車に依存した状態である。今後人口増加等により、都心方面の交通需要の増加が予想されるが、自家用車への過度な依存によって、新御堂筋をはじめとした都心方面への道路交通混雑が予想される。

### (1) 交通流動

- 大阪都心との結びつきが極めて強い
- 千里中央指向

- 箕面市および近隣市（吹田市、豊中市、池田市）の交通流動は、大阪府の市町村の中でも特に大阪市方面の流動が多い地域であり、都心との結びつきが強い地域である。
- 都心アクセスに利用される鉄道路線は、阪急箕面線、北大阪急行線、阪急千里線の3線であり、箕面市からは北大阪急行線千里中央駅が最も利用されている。
- 箕面市から千里中央地区に対するトリップは、概ね2/3が千里中央駅（北急、大阪モノレール）利用の端末トリップ、1/3が千里中央地区を目的地とした代表手段トリップとなっており、千里中央を目的地とした利用も比較的多い。

### (2) 公共交通サービス（鉄道・バス）

- 鉄道アクセス不便地域
- 市内バスサービスの不足
- 公共交通サービスへの市民の不満が大きい

- 箕面市域は、大阪都心から20km圏の地域の中で、鉄道不便地域（自動車での移動は便利だが、鉄道での移動が不便な地域）の一つになっている。大阪府の交通道路マスタープランでは、鉄道不便地域について、鉄道網の充実や鉄道アクセスの改善により解消を図り、公共交通の利便性を高める方針が示されている。
- 箕面市のバス路線網は、市内の住宅地等と千里中央とを結ぶ路線で運行本数が多く、利用者数も多い。一方、市内を循環する路線網は系統・運行本数ともに少なく、例えば粟生団地と箕面市役所とを結ぶ循環系統のバスは1日に14本しか運行されていない。なお、千里中央駅では、1日約2,100便が発着し、約41,000人/日の乗降客がある。バスターミナルとしては手狭な状態であると言える。
- 平成15年度に実施された「箕面市民満足度アンケート調査」によると、公共交通のサービス向上、道路交通の適正化に関する施策は、「満足度」が最も低く、「今後の重要性」では医療や福祉関係の施策に次いで、重要度が高い施策群に属している。

### (3) 自動車利用

- 自家用車への過度な依存
- 観光期の交通渋滞

- 箕面市は市全体として自動車依存度が高く、都心方面へのアクセスや比較的近距离利用である市内々々トリップにおいても自動車依存度が高い。
- 観光交通においては、箕面公園来訪者の利用交通手段は、阪急箕面線が最も多いが、次いで自家用車の利用が多く、観光シーズン中の箕面公園のドライブウェイや市街地の幹線道路等の交通渋滞を解消するため、抜本的な対策が必要との指摘がなされている。

(1) 交通流動

■大阪都心との結びつき

表 2-7 通勤目的の総発生トリップに対する、大阪市内着トリップの割合

406 吹田市	46.5%
405 豊中市	42.4%
421 松原市	38.6%
404 池田市	37.5%
416 四條畷市	36.2%
424 羽曳野市	35.0%
403 箕面市	34.8%
402 豊能町	34.6%
415 守口市	34.5%
423 藤井寺市	34.1%
431 堺市	34.0%
417 大東市	33.7%
418 東大阪市	32.6%
433 高石市	32.5%
413 寝屋川市	31.9%
425 大阪狭山市	31.5%
434 泉大津市	30.4%
419 八尾市	30.3%
420 柏原市	30.2%
408 茨木市	29.9%
407 摂津市	29.6%
426 富田林市	28.8%
411 枚方市	28.6%
409 高槻市	28.1%
412 交野市	28.0%
414 門真市	27.8%
422 美原町	27.6%
432 和泉市	26.4%
410 島本町	26.2%
401 能勢町	13.2%

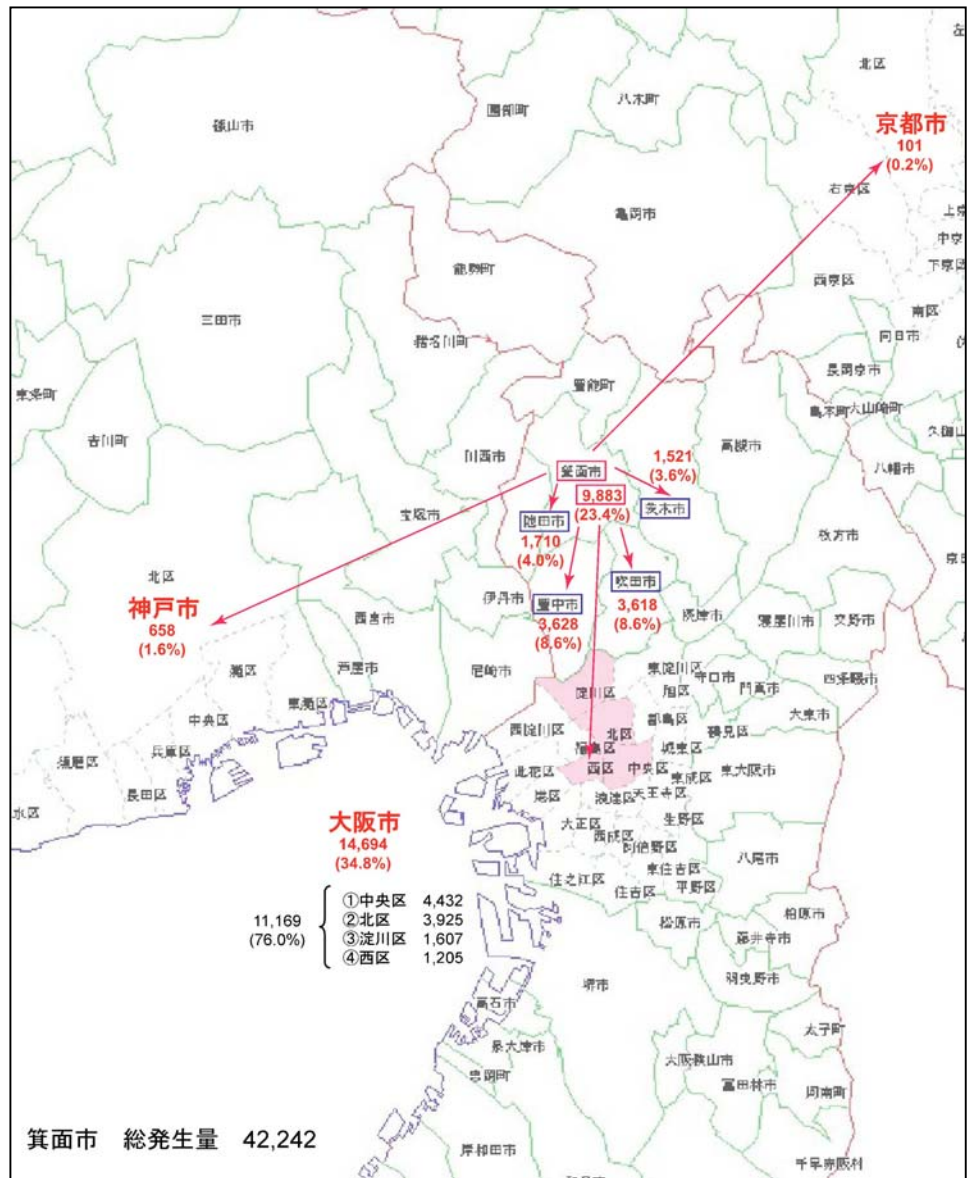


図 2-10 箕面市からの通勤目的トリップの分布



■千里中央への交通流動

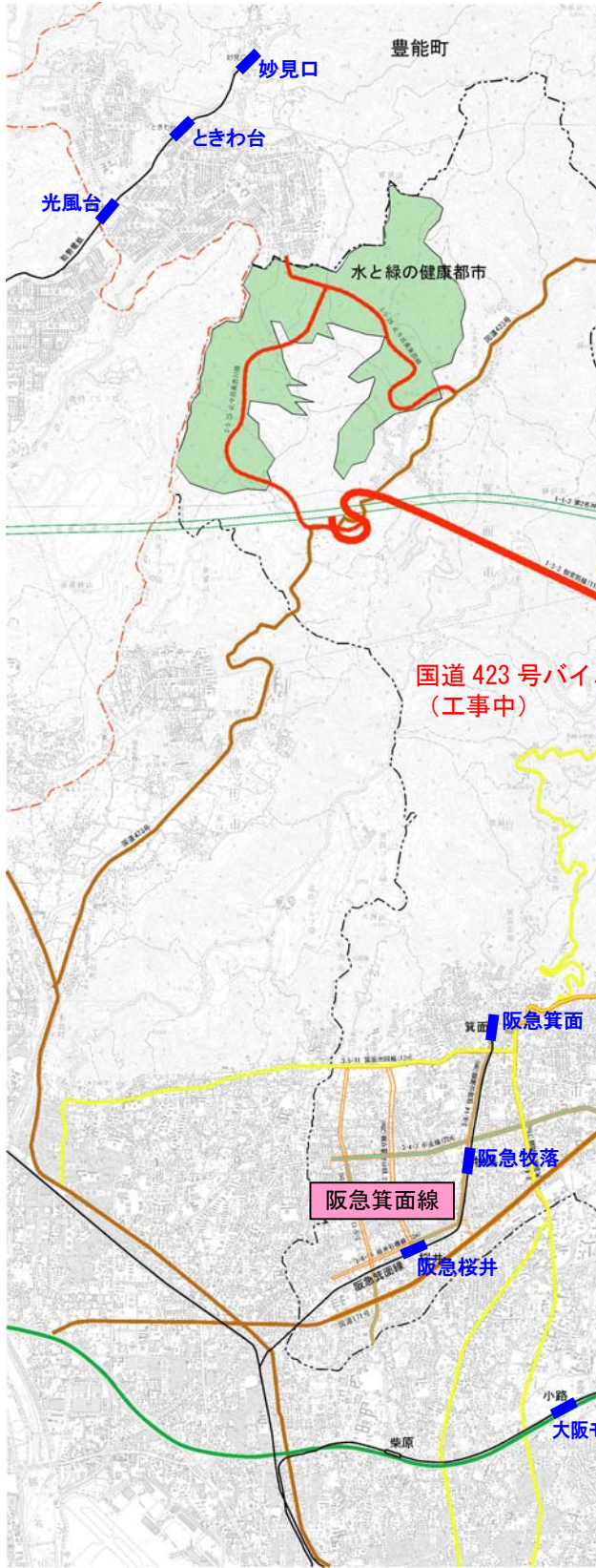


表 2-7 箕面市からの利用鉄道駅

駅名	箕面市の 駅端末量	割合	駅端末量計	【参考】 乗降数*
北急 千里中央	23,543	28.8%	87,106	86,554
阪急 箕面	20,759	25.4%	20,810	17,480
阪急 桜井	10,302	12.6%	11,812	11,860
阪急 北千里	8,833	10.8%	38,493	29,852
阪急 牧落	6,374	7.8%	6,675	8,186
阪急 石橋	4,553	5.6%	53,148	(114,867)
その他の駅	4,239	5.2%	-	-
大阪高速 千里中央	3,267	4.0%	14,915	27,622
	81,870	100.0%		

\*平成16年度大阪府統計年鑑より  
石橋駅( )内は乗換えを含む数

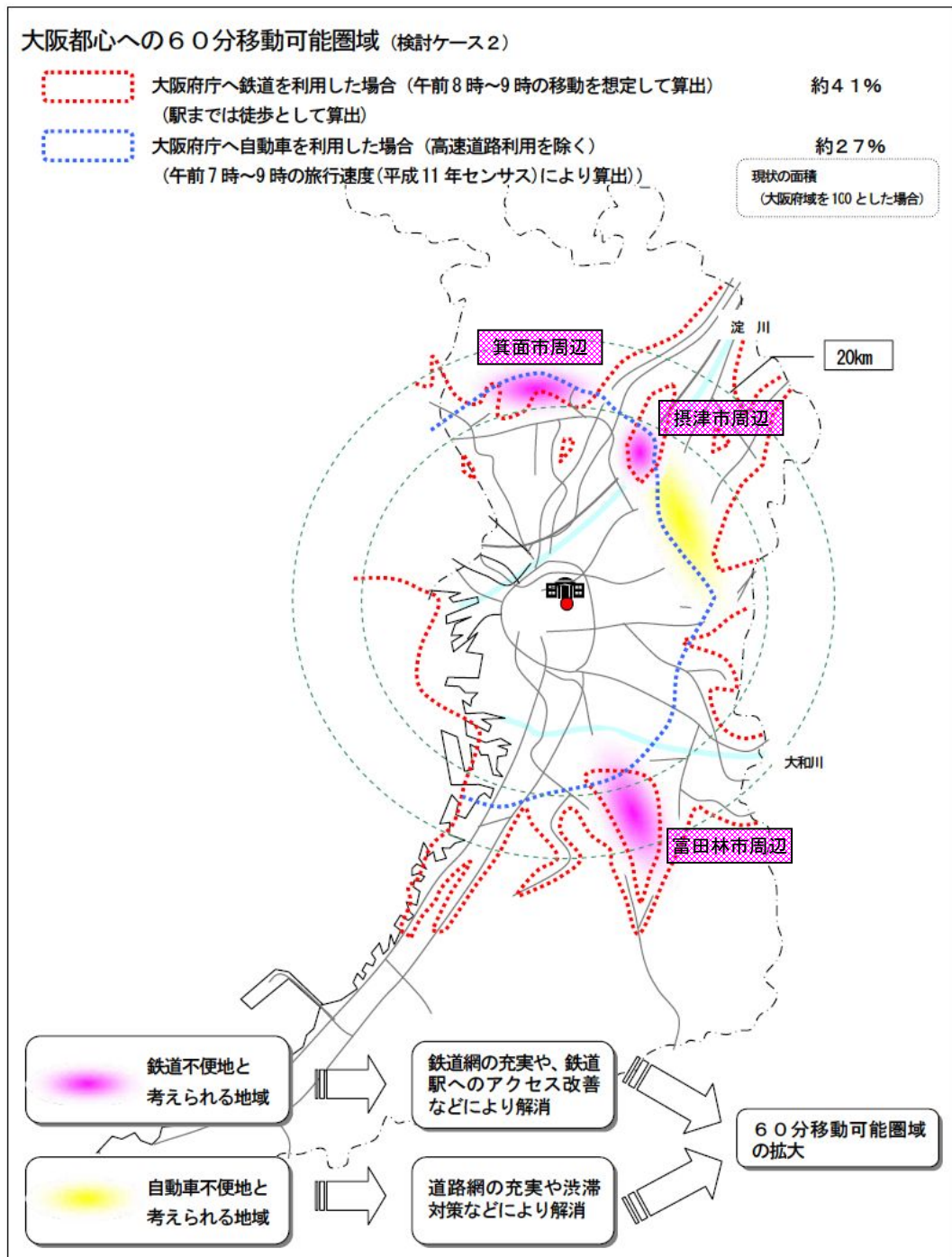
表 2-7 箕面市から千里中央ゾーンへのトリップ数

トリップ種別	計
千里中央駅乗車量(端末)	13,828
千里中央ゾーン着(代表)	6,425
端末/代表	2.2
端末・代表計	20,253

図 2-11 延伸地域周辺の鉄道路線網

(2) 公共交通サービス

■大阪府の鉄道不便地域



出典：大阪府交通道路マスタープラン (市名は加筆)

図 2-12 大阪都心から20km圏の鉄道不便地域



■バス路線

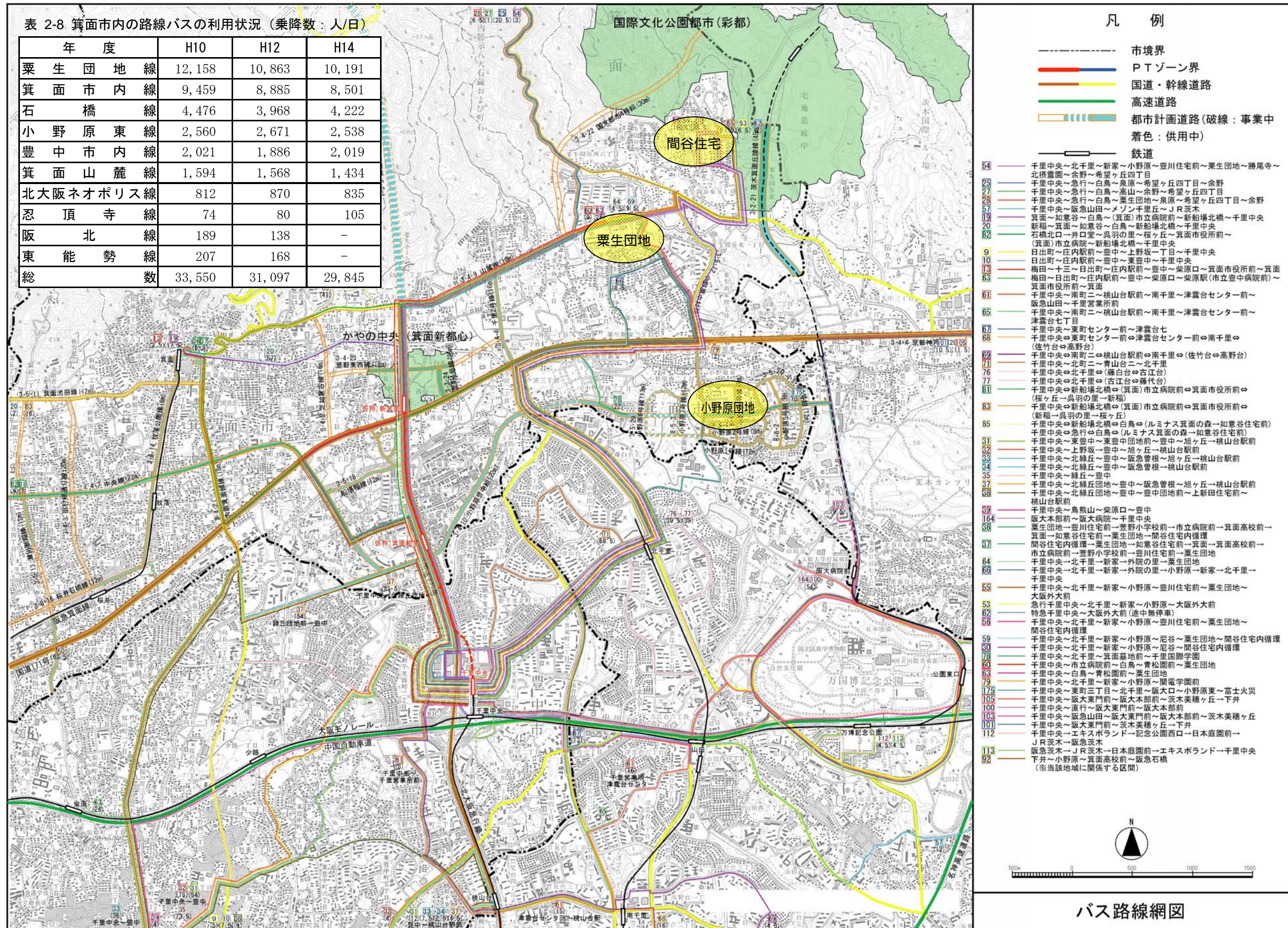


図 2-13 箕面市のバス路線網



■千里中央ターミナルの現況



■阪急バス（路線バス・高速バス）①～⑫

- |  |   |
|--|---|
| <p><b>0 夜行高速バス</b><br/>西鹿見島、長崎、小倉・福岡(博多) 山・下関、松山・八幡浜、高知、長野、新潟、池袋 方面</p> <p><b>1</b> 東豊中団地前、豊中 経由<br/>10 庄内駅前、日出町 方面<br/>31 旭ヶ丘、桃山台駅前 方面<br/>上野坂一丁目、豊中 経由<br/>9 庄内駅前、日出町 方面<br/>22 旭ヶ丘、桃山台駅前 方面</p> <p><b>2</b> 北緑丘、豊中 経由<br/>33 37 阪急曽根、旭ヶ丘、桃山台駅前 方面<br/>34 阪急曽根、桃山台駅前 方面<br/>38 東豊中団地前、桃山台駅前 方面</p> <p><b>3</b> 西緑丘、上野東(三)、豊中 方面<br/>39 上野口、柴原口、豊中 方面</p> <p><b>4</b> 南町(二)、桃山台駅前、南千里、津雲台センター前 経由<br/>61 阪急山田、千里(宮) 方面<br/>66 津雲台(二)、津雲台(七) 方面<br/>68 東町センター前、津雲台センター前 経由<br/>69 南町(二)、桃山台駅前 経由<br/>南千里、佐竹台、高野台 方面<br/>67 東町センター前、津雲台(七) 方面</p> <p><b>5</b> 循環医療センター前、今宮 経由<br/>63 大阪外大前 方面<br/>64 外院の里 方面<br/>65 66 69 葉生団地 方面<br/>30 66 間谷住宅 方面<br/>64 勝尾寺、北摂里園、余野、希望ヶ丘四丁目 方面</p> | <p><b>6</b> 100 101 103 104 阪大医学部病院前、阪大本部前、淡木美穂ヶ丘、下井 方面<br/>112 エキスポランド、日本庭園前、阪急淡木 方面<br/>73 阪急小野原住宅、千里国際学園 方面<br/>79 関電学園前 方面 5 小野原東 方面</p> <p><b>7</b> 81 82 新稲 方面 83 井口堂 方面<br/>81 82 83 桜ヶ丘、呉羽の里 方面<br/>88 ルミナス真面の森、如意谷住宅前 方面<br/>28 28 泉原、希望ヶ丘二丁目 方面<br/>27 28 余野 方面</p> <p><b>8</b> 71 北町二丁目、青山台二丁目、北千里 方面</p> <p><b>9</b> 76 77 東町二丁目、東町三丁目、北千里、古江台、藤白台 方面</p> <p><b>10</b> 阪急山田、新小川 経由<br/>6 女子谷、七尾西、JR吹田 方面<br/>17 18 山田宮ノ前、下山田、JR岸辺 方面<br/>メゾン千里丘、JR淡木 方面</p> <p><b>11</b> 119 (箕面)市立病院前、白島、如意谷、箕面 方面<br/>20 白島、如意谷、箕面、新稲 方面<br/>60 (箕面)市立病院前、白島、青松園前、葉生団地 方面<br/>60 白島、青松園前、葉生団地 方面<br/>62 21 21 21 大阪外大前 方面</p> <p><b>12</b> 104 北千里、小野原東、富士火災 方面</p> |
|--|---|

■左記以外

- ① : 摂陵中学校、摂陵高等学校、向陽台高等学校
- ② : 梅花女子大学/大学院、梅花女子大学短期大学部
- ③ : 関西大倉学園
- ④ : 追手門学院高等学校・中学校
- ⑤ : 聖母被昇天学院小学校
- Ⓐ : SSOK(阪急バス 12 番乗り場)
- Ⓑ : COM
- Ⓒ : NUM(ニューム)
- Ⓓ : 箕面マーケットパーク VISOLA(阪急バス 11 番乗り場)
- Ⓔ : ビーバーワールド

Ⓐ : 降車用バース

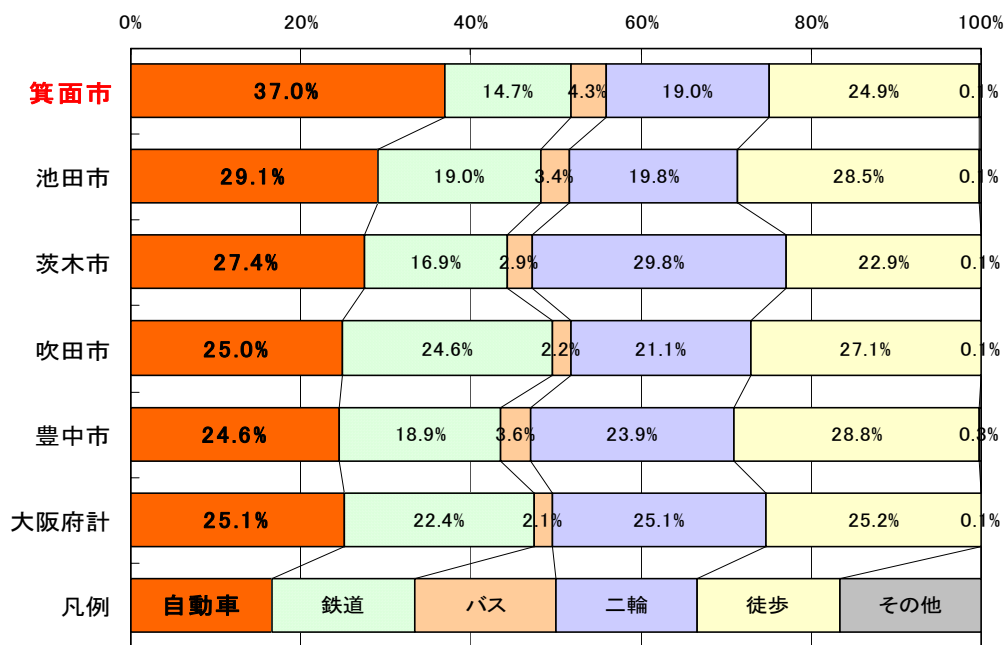
図 2-14 千里中央ターミナル



(3) 自動車利用

■自家用車への依存

- ・第4回京阪神都市圏パーソントリップ調査結果より、大阪近郊の市町村ごとの発生集中トリップにおける代表交通手段構成を見ると、箕面市は自動車の分担率が非常に高い。
- ・都心方面への自動車利用について、通勤目的の総発生トリップに対する、大阪市内着トリップの割合が高い上位10市の当該トリップの手段分担率を通勤目的、自由目的、目的計それぞれで見ると、箕面市はいずれの目的でも自動車の分担率が高い。
- ・内々トリップの代表手段分担率を近隣市と比較すると、自動車の分担率が非常に高い。逆に、徒歩+二輪の分担率は68.3%であり、近隣4市がいずれも75%前後の値であるのに対し、低くなっている。箕面市の地形的特徴も影響していると考えられる。



資料：第4回京阪神都市圏パーソントリップ調査結果より

図 2-16 代表手段分担率

表 2-9 通勤目的の総発生トリップに対する、大阪市内着トリップの割合が高い上位10市の当該トリップにおける自動車分担率

	通勤	自由	目的計
402 豊能町	20.1%	③ 27.8%	23.2%
403 箕面市	③ 24.2%	② 34.5%	② 31.8%
404 池田市	12.7%	17.5%	21.8%
405 豊中市	19.3%	15.0%	24.3%
406 吹田市	15.0%	14.6%	22.9%
415 守口市	15.0%	20.0%	25.2%
416 四條畷市	15.7%	13.0%	19.3%
421 松原市	① 27.2%	① 41.2%	① 37.6%
423 藤井寺市	16.4%	15.3%	24.1%
424 羽曳野市	② 26.8%	25.7%	③ 29.0%



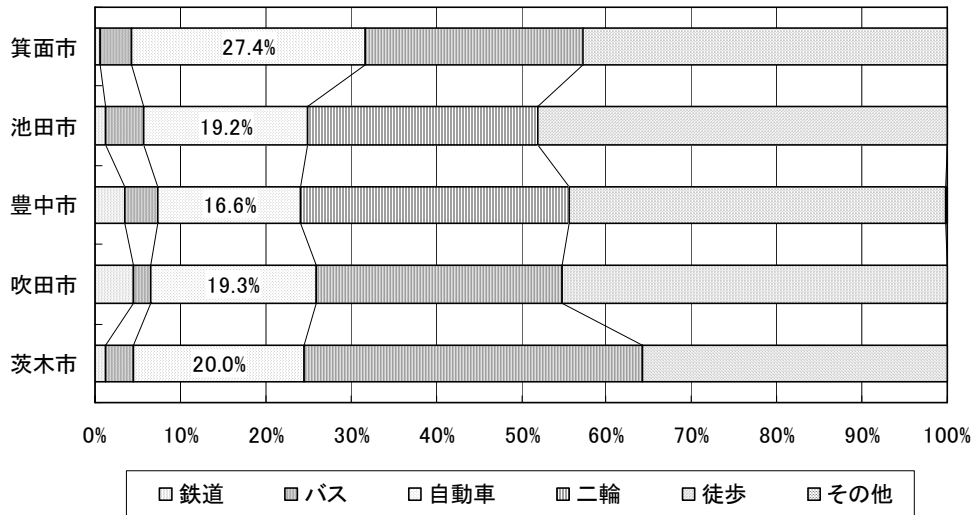
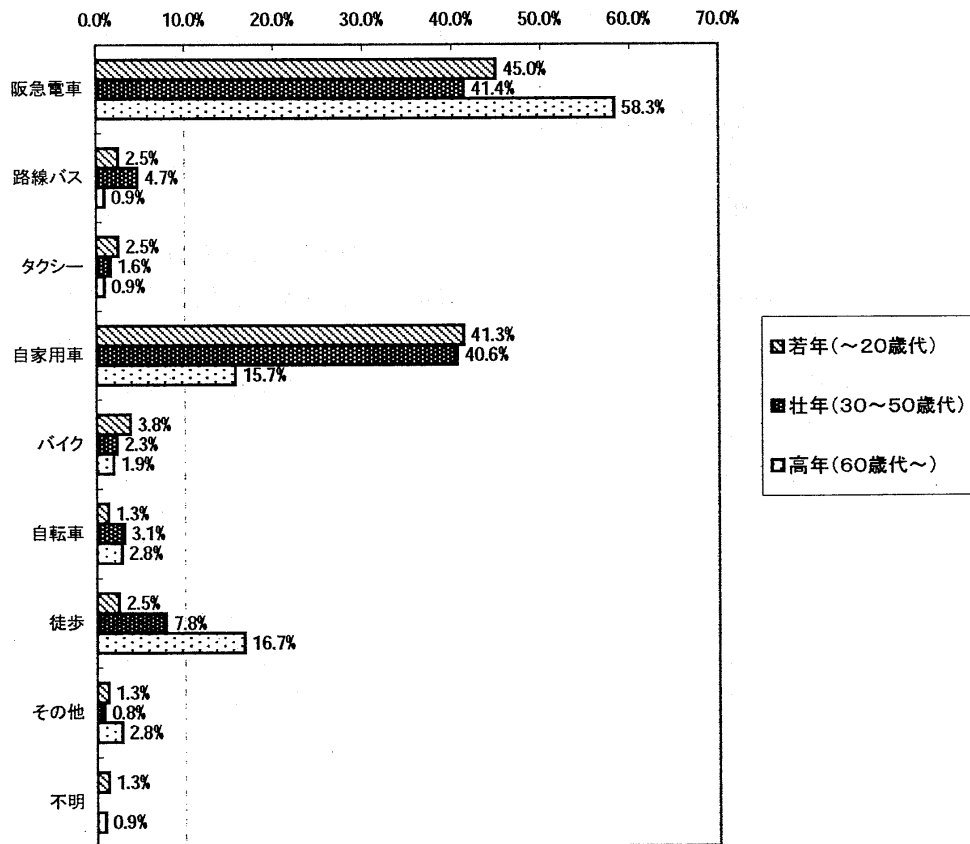


図 2-17 箕面市および近隣市の市内内々トリップにおける代表手段分担率

### ■観光交通

・箕面公園来訪者の利用交通機関としては、阪急電車の利用が最も多いが、次いで自家用車の利用が多い。



(出典：箕面市集客促進戦略策定調査)

図 2-18 箕面公園来訪者が最後に使用した交通機関 大阪都心部へのアクセス状況

## ■ 新御堂筋の混雑状況

- ・平成 11 年度道路交通センサスによると、新御堂筋（国道 423 号）は、都心に近づくにしたがって、混雑が激しくなっており、24 時間交通量は、千里中央から江坂付近まででは 7 万台～11 万台程度、江坂から以南では 13 万台～15 万台程度となっている。
- ・道路混雑の緩和、環境負荷の軽減のためには、都心方面へ流入する自動車交通の鉄道への転換が望まれる。

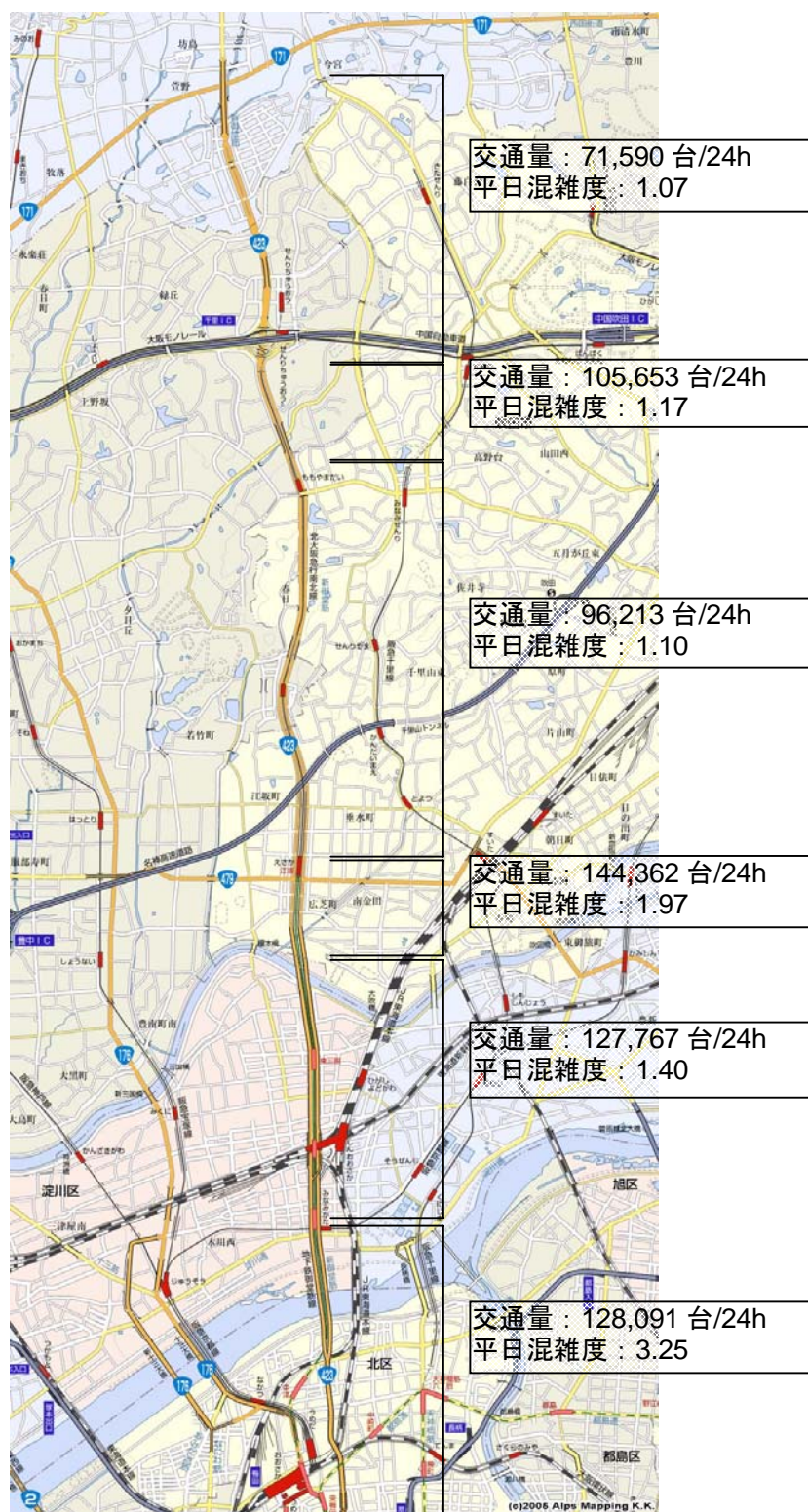


図 2-19 新御堂筋の混雑状況